



# 学校だより

令和6年度 11・12月号  
学校法人松蔭学園  
松蔭大学附属  
松蔭高等学校

HP : <http://www.shoin.ed.jp/>

Blog : <http://www.shoin.ed.jp/category/information/>

## 高校2年生 修学旅行

11月5日(火)より3泊4日で修学旅行に行っていました。その後の学校説明会でも紹介した生徒の思い出を掲載いたします。

- ◆ 1日目は山口県の秋芳洞・秋吉台・松陰神社に行きました。秋芳洞は国の天然記念物に指定されている日本有数の鍾乳洞です。洞内は非常に広くみんなで探検気分を味わえました。
- ◆ 秋吉台も特別天然記念物に指定されている日本最大級のカルスト台地です。思わず写真を撮ってしまうような美しい風景で私もみんなと沢山写真を撮りました。山口県の名産品である夏みかんのソフトクリームをみんなで食べました。絶景の中でみんなで食べるアイスは格別でした。



- ◆ 絶景を楽しんだあとは松陰神社に向かいました。
- ◆ ここは我が校の創設者、松浦昇平先生が敬愛していた吉田松陰先生を祀っています。境内には松陰先生の生涯を一から学べる記念館があり日本人にとって史上最大の政治的革新『明治維新』の原動力となった先生の全貌を知る事ができました。他にも松下村塾があり、ここはなんと世界遺産となっております。松下村塾で学び育った人物に高杉晋作や伊藤博文などの塾生がおり、松下村塾についても深く学ぶことができました。



- ◆ 彼は大吉でしたが、バスガイドさんから聞いた話によると、ここ松陰神社のおみくじは『凶』が出ると縁起が良いとされているそうです。



- ◆ 2日目の朝食の前にホテルの前の浜辺で散歩しました。海風が少し強かったのですがとても気持ちよかったです。
- ◆ この日は岩国の錦帯橋と広島市の平和記念公園に行きました。錦帯橋は五つのアーチをもつ特徴的な橋で、橋の上から見る景色は絶景でした。
- ◆ ここには 200 種類のアイスクリームがある「むさし」という店があり、みんなで楽しく何を食べようか悩みながら選びおいしく頂きました。



- ◆ 次は広島県です。広島では平和記念公園・平和記念資料館へ行きました。私たち二人は中学校が同じで中学三年生の修学旅行で一度行ったことがあります。中学生のころは原爆の恐ろしさ、語り継がれていくべき事実を学びました。現在、高校生となって被爆の事実を後世にどう伝えていくべきか、見学しながら思案しておりました。結局、旅行中は思いつきませんでした。これから忘れずに考え続けたいと思います。資料館の中は大変混雑しており、色々な国からの訪問者も多数いました。



- ◆ 3日目は千光寺を見学し、広島を後にし、岡山県の大原美術館。倉敷美観地区、吉備津神社にいきました。この日は朝から天気非常好山の上にある千光寺からは、瀬戸内海の島々を見渡す美しい景色に感動しました。千光寺には有名な縁結びのお守りがあります。七福神おみくじと言うなまえにつられて、おみくじを引きました。



- ◆ 倉敷美観地区は白壁の蔵屋敷など趣のある景観がたのしめる街並みです。その中にある大原美術館は建築も魅力的です。周囲が自然と調和した美しい環境の中にあります。これらの要素が組み合わさり大原美術館はアート愛好者だけでなく、観光客にも魅力的なスポットとなっています。



- ◆ 吉備津神社は、日本人なら誰もが知っているおとぎ話「桃太郎」のモデルとなった大吉備津彦大神（おおきびつひこおおかみ）を主祭神とする神社です。



- ◆ 最終日には 旧閑谷学校と姫路城に行きました。旧閑谷学校は現存する世界最古の庶民のための公立学校です。実際に建物の中に入りました。学校は中国風に統一されています。



- ◆ 姫路城には江戸時代初期に建てられた天守ややぐらの主要建築物が現存し、国宝や重要文化財に指定されています。世界遺産リストにも登録され、日本100名城などに選定されています。シルバーガイドさんが城内を案内してくださり、ガイドさんの説明でしか知ることのできない、思わず聞き入ってしまうような城内の遊び心あるカラクリや知恵を学ぶことができました。



- ◆ 4日間、楽しい話題と各地の歴史を教えて下さったガイドさん、全く揺れを感じさせず常に安全運転をして下さった運転手さん。この二人ともお別れし、東京まで戻りました。



#### PTAより

10/19・20の両日に行われた文化祭において、今年もPTAバザーを行いました。たくさんの保護者の方々のご協力のおかげで、大盛況のもと、実施することができました。

売上金につきましては、先生方のご意見なども参考に、できるだけ多くの生徒に活用できる方向で検討してまいります。バザー販売品のご提供から、準備、当日の係にいたるまで、お手伝いいただき誠にありがとうございました。

PTA会長 風巻 宏

#### 生徒会より

文化祭で生徒会主催のカフェテリアを出店しました。たくさんの方々に利用していただき、二日間の売り上げは、47,100円でした。この売上は生徒会費として生徒の活動に還元させていただきます。

## 税に関する高校生の作文

高校1年生では夏休みの課題として、税について考えをまとめて作文に書き、「税に関する高校生の作文」コンクールに応募しました。高校1年生2名の作品が「北沢税務署長賞」に選ばれ、表彰されました。受賞者の作文を一部抜粋して紹介します。

### 「税金の重み」

…私は最も関わりの深い消費税について知りたいと感じました。現在日本では十パーセントの消費税が課せられています。私が小さい頃は五パーセントだったのに、なぜ2倍もの消費税をとらなければならなかったのでしょうか。その理由として少子高齢化が急激に進んでいることだと考えられます。子どもを増やす為に、子育てサポートに力を入れる。高齢化に対策として社会保障の安定財源を確保することなど。このように日本の将来を守る為には、たくさんの税金が必要となったのです。それでは次に、消費税が最も高いハンガリーに注目してみましょう。現在ハンガリーでは、二十七パーセントもの消費税が課せられています。これほどの消費税をとるのにはどのような意図があるのでしょうか。実はハンガリーも日本と同じように、税金の多くを社会保障として還元しているのです。しかし、日本の約三倍の消費税を支払っている為、幅広い分野の手厚いサービスを行うことで、国民の生活の質の向上を実現させ、少子高齢化も防止されていっているのです。また、ハンガリーでは、ポテトチップス税と呼ばれる消費税があるのを知っていますか。これは主に糖分や塩分の高い商品に対して消費税を課すことで、国民の健康維持や肥満防止に繋げているのです。日本にもこういったユーモアある税金を作ることで、国民の意識を高めていくことが大切かもしれません。…

### 「私たちを支える税金」

…私たちが生活を送る上で、買い物をしたときや、働いて給料を得たときなど、様々な場面で税金が関わっているが、その税金の一部は、社会保障の財源として使われ、私たちの生活を常に支えている。その金額は百兆円を超えるほどで、もし税金がなければ、私たちは簡単に病院に行くことができなくなったり、年老いて介護などが必要になっても助けてくれる人がいないなど、生活を送る上で大きなリスクを抱えることになってしまう。このようなことから、税金は私たちの生活を支えるなくてはならないものだと言える。

しかし、消費税が引き上げられたりしたときなど、様々な所で税金に対する不満の声を聞くことがある。税金がなければ安心して生活を送ることができないのに、不満の声が上がるのはなぜだろうか。そのような疑問を持ちながら理由を考えたが、それは税金があることで受けられるサービスを、あって当たり前といった視点で見ているからだと思う。また、そのような視点を持っていることで、税金の大切さを忘れていることも、理由として挙がると思う。税金は、私たちの生活を送る中の、様々な場面で国に納められているが、その税金があることで私たちの生活が支えられていることを、もう一度確認するべきだと思う。そのようにすることで、税金の大切さを再確認することができ、より医療や福祉にまつわるサービスや、その他のサービスを大切にすることができるかもしれない。…

## 八支部だより

毎年、10月から11月にかけて父母の会と私立中高協会が中心となって3度の大きな大会が私学振興と教育費保護者負担軽減のために開催されております。

10月12日(土) 国士館高等学校にて「私学振興拡充支部大会」が開催されました。東京都議会議員をお招きし、私学振興に関する様々な要望を伝えました。

10月15日(火)「私学振興予算要望期成大会」が共立講堂にて開催されました当日は、全国の私立小・中・高等学校から保護者や教職員が多数参加しました。

11月6日(水)「私学振興全国大会」が文京シビックホールにて開催されました。当日は岸田前内閣総理大臣をはじめ、多くの各議員の方々が出席されました。本大会は私立学校教育の更なる充実のため、経常費補助の大幅な拡充、父母負担教育費の公私間較差の是正、施設設備等を含む教育水準維持・向上のための支援補助制度の拡充強化等を大会決議とし、力強く要望がなされました。

それぞれの大会に本校八支部委員の方々並びに教職員が参加しております。ご協力していただいた本校八支部委員の方々には心より感謝申し上げます。第八支部の活動にご理解いただき今後ともお力添えいただきますよう、よろしく願いいたします。

## 囲碁将棋部より

11月3日(日)に東京都立大泉高等学校にて、2024年度全国高文連将棋新人大会東京地区予選・関東大会東京予選が開かれました。本校からは高校2年 高橋晃基 高校1年 中村公亮 小林琉 野島佳也 の4名が参加しました。それぞれのブロックに分かれ、上位8名の決勝トーナメントを目指し、対局しました。結果としては、中村公亮 11位、小林琉 34位、野島佳也 36位、高橋晃基 38位という成績となりました。名高い強豪校と対局できたことはいい体験となりました。今後、松蔭将棋部の独自の攻めと守りと部員一人一人の個性と強みを活かして、棋力と勝負力を高めたいと思います。